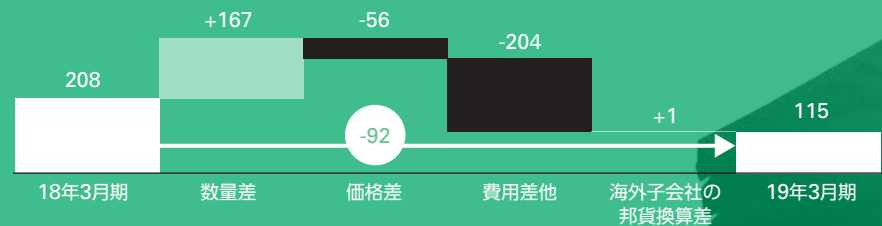


炭素繊維 複合材料



	2017	2018	増減率	2019(見通し)
売上高(億円)	1,779	2,159	+21.3%	2,500
営業利益(億円)	208	115	-44.4%	220
営業利益率	11.7%	5.3%		

営業利益増減(億円)



基本方針

- 世界No.1の炭素繊維メーカーとしてのさらなる事業拡大

収益機会とリスク

- 地球環境問題や資源・エネルギー問題の解決に貢献する先端素材に対するニーズの高まり
- 航空機、風力発電翼、圧縮天然ガスタンク、自動車などの最終製品の需要動向
- 炭素繊維のグローバルな需給バランス
- 原燃料価格・外国為替相場の動向

中期経営課題“AP-G 2019”達成に向けた事業戦略

■航空宇宙用途

- 既存のパートナーシップをさらに強化
- 新規プログラムの獲得を推進

■一般産業用途

- レギュラートウ、ラージトウをラインナップした総合力により圧倒的トップシェアの地位を強化
- ラージトウのコスト競争力を背景に、大手顧客との関係を強化し風力発電翼用途で圧倒的トップシェアの地位を強化
- 自動車用途の本格的な需要拡大に備え、サプライチェーンの拡充と中間基材・成形技術の開発を推進

2019年度見通し

- 航空宇宙用途は、大手顧客の生産機数引き上げに対応して出荷の拡大を見込む
- 一般産業用途は、環境・エネルギー関連用途を中心に拡販を推進
- 海外のコンポジット子会社はコストダウンを推進

Zoltek Companies, Inc.でラージトウ炭素繊維の生産設備増強

米国子会社Zoltek Companies, Inc. (Zoltek)において、ラージトウ*炭素繊維の生産設備増強を決定しました。今回の設備増強では、Zoltekのハンガリー工場の生産能力を現行の年産1万トンから1万5千トン強に増強する計画です。設備投資額は約130百万USD(約137億円)であり、2020年度初めの生産開始を予定しています。Zoltekは、メキシコ工場の能力を年産5千トンから1万トンに引き上げる設備増強を実施しました。今回のハンガリー工場での増強後には、Zoltek全体で年産約2万5千トン強の生産能力となります。

Zoltekはハンガリー政府との間で、2015年3月に戦略的提携契約を締結し、インフラ整備や従業員採用、従業員教育への補助などハンガリー政府から強力な支援を受けています。今回の増設はこの戦略的提携契約に基づく設備増強計画です。

ラージトウ炭素繊維は、産業用途向けの需要が急拡大しており、なかでも風力発電機翼用途では、欧州をはじめ、中国、インドを中心としたアジアや南米でも需要が増えています。また、発電機の大型化により、1機あたりの使用量増加も見込まれます。

Zoltekは今後も、米国、ハンガリー、メキシコに生産拠点を持つ強みを活かして、発電機翼製造メーカーのグローバルな需要拡大に追随する地産地消型ビジネスを展開していきます。また、欧州で炭素繊維採用が先行する自動車の構造体用途向けには、今回生産設備増強を決めたハンガリー工場からのタイムリーな供給体制を確立し、将来の需要拡大への対応を迅速に進めます。Zoltekはハンガリー工場、メキシコ工場での炭素繊維生産設備増強を進め、ラージトウ炭素繊維の世界No.1企業として、圧倒的な供給体制を構築していく方針です。

*ラージトウ: フィラメント数が40K(40,000本)以上の炭素繊維で、風力発電機翼、樹脂コンパウンド強化剤等の産業用途での要求特性を満たす、比較的低価格の製品として使用されている。

TenCate Advanced Composites社の株式取得

オランダの炭素繊維複合材料メーカーTenCate Advanced Composites Holding B.V.の全株式を2018年7月に取得しました。同社は欧米に主要製造拠点を有するプリプレグメーカーで、熱可塑性樹脂及び高耐熱熱硬化性樹脂材料を中心に幅広い採用実績を有しています。特に熱可塑性樹脂を用いた炭素繊維基材のグローバルリーディングカンパニーです。今回の買収により、同社が得意とする製品群に対し、東レが強みを有する幅広い炭素繊維技術や、ポリマー技術などを投入することで、大きなシナジーを期待でき、さらに両社の商流を融合させることで、顧客に対してより幅広いラインナップを提案することができます。小型航空機向け市場拡大に迅速に対応し、中長期的には自動車向けなどの産業用途において、一層の事業拡大を図ります。